



第1200回例会  
第1201回例会

神戸みなとライオンズクラブ (第50期)

2018年11月1日・23日  
11月第一・第二例会合併号

発行責任者：第50期会長 団 英男

# Autumn Letter Vol.08

## 会長挨拶

神戸みなとライオンズクラブ会長 (第50期) 団 英男

早くも今年第二四半期に突入しました。第一四半期は新会員は1名の純増ですが、今期期末の目標は40名としています。どうかいま一度みなさんのご友人、先輩・後輩、ご近所の方、サークル活動で一緒にされている方など候補者がいないか見まわしてください。今期、堀口ガバナーは「数は力なり」会員増強を口にしなくなった途端クラブは衰退していくと説かれています。会員増強によってクラブの問題の90%は解消されるということです。特に女性会員の増強に力を注がれていますので、多くの女性会員の候補者をご紹介ください。(小比賀会員委員長までお願いします) 次回の例会は泣いても笑っても1201回例会で結成50周年記念大会となります。周年記念大会運営会議の谷垣大会会長以下総員が最後の追い込みをしています。各部長は部会のメンバーのみなさんに周知徹底していただき、当日はバタバタすることがないようにお願いします。今回の「例会レター」は合併号させていただきました。さすがに、これから周年記念大会までは私も全力で取り組まないといけないと思います。どうか今日の例会も最後まで有意義な例会になりますよう会員みなさまのご協力をお願いします。

先日撮影した集合写真です。残念ながら鶴岡と久本が入っていませんが、2018年10月1日現在に在籍しているメンバーが写っている写真は、50周年記念大会プログラムに掲載いたします。

## 徳川家康の戒め



徳川家康と言えば265年の長期にわたる武士政治の礎を築いた人だが、晩年このような言葉を残していると言われていました。

「人生において肝要なことは？」と尋ねられた時に「5文字で言えば『**うえをみな**』（上を見るな）」、「7文字で言えば『**みのほどをしれ**』（身の程を知れ）」という言葉だそうです。この言葉は、堅実にそして着実に天下人の階段を登ってきた家康の生き方を示すものではないでしょうか。

徳川幕府初代将軍。岡崎城主松平広忠の長男。幼名は竹千代、のち元信・元康、院号を安国院。6才の時織田・今川の人質となるが桶狭間の戦いで岡崎にもどり、信長と結んで勢力を拡大、信長歿後は豊臣秀吉と対立するが和睦し、秀吉の天下統一に協力する。秀吉の死後、関ヶ原の戦いで石田三成を破り対抗勢力の一掃に成功、征夷大将軍となる。大坂冬・夏の陣で豊臣氏を滅ぼし、名実共に天下を統一して幕府の基礎を固めた。元和2年(1616)歿、75才。



第1198回例会集合写真

## 編集後記

●先日、し其浦からこの例会レターについてコメントをいただいた●このようなレターは続けてもらいたいというありがたいお言葉だった●実際毎回一人で原稿作成、入力、校正そして発行という作業は地道で大変時間がかかるものだが、お一人でも読んでいただいていることは心強くもあり、励みにもなる●これからも続ける覚悟だが、今回は合併号でお許してください(だ)

次回例会 (第1201回) **結成50周年記念大会**  
2018年11月23日 (金・祝)  
ANAクラウンプラザホテル神戸  
メンバー集合は、午前9時です